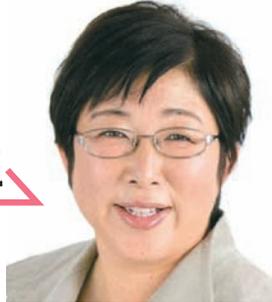


生活者ネットワーク 区議レポート



きみがき圭子



橋本けいこ



やない克子

2016年3月25日
発行責任者 きみがき圭子
〒176-0001
練馬区練馬1-15-1 堀越ビル303
TEL 03-3948-6408
FAX 03-5999-4632
Eメール:net-gikai@jcom.home.ne.jp



見せかけの改革より、 ほんとうの 豊かさを

1月に区内6か所で「練馬の未来を語る会」が開催され、私たちも参加しました。区の考えを示した資料が当日配布され、一問一答で意見を聞くだけで議論は深まらず、ただの説明会でした。区長は区民参加について、「議論を重ねた上で最終的には自分が判断する」と言い、トップダウンの姿勢です。

下記の部分を切り取り、郵送してください。
FAXやE-メールでもお送りください。
FAX番号:03(5999)4632
E-メール:net-gikai@jcom.home.ne.jp

郵便はがき

176-0001

切手を貼ってください

練馬区練馬1-15-1 堀越ビル303
生活者ネットワーク
区政調査室 行

みなさんの声をおよせください。

- ・『みどりの風吹くまちビジョン』について知っていますか? はい いいえ
- ・区は改革をすすめると言っていますが、改革が必要なものはなに?
(複数回答可) 区長 財政 環境 教育 福祉
まちづくり区民参加 区議会 その他()
- ・区政に対してご意見がありましたらお書きください。

*さしつかえなければ、ご記入ください。情報をお届けします。

お名前 _____ 電話 _____
ご住所 〒 _____

反対する区民は 置き去り

2016年度練馬区予算は約2600億円と年々増え続けています。しかも、区長が掲げた「みどりの風吹くまちビジョン」を實行するための予算約267億円のうち、都市整備に関連する予算は約153億円にもなっています。

ほんとうの 豊かさは

区長の夢は「豊かで美しく、『練馬区ここにあり』と誇れるまちを築く」ことだそうです。しかし、異なる意見を受け付けず、区民を分断したまま、見せかけだけの自分の夢を実現させても、区民にとって、ほんとうの豊かさや美



区議会議員

きみがき 圭子

<http://kimigaki.seikatsusha.me>

議会運営委員会
企画総務委員会
清掃・エネルギー等
特別委員会

厳しい財政を強調して区民に不安を与える一方、賑わいや「見た目の美しさ」を求めて、新たなハコモノや道路づくりにも多額の予算をつぎ込んでいます。反対する区民とは十分な対話をせず、諦めるのを待っているかのようです。

しさは実現しません。生活者一人ひとりが主権者として尊重され、人にやさしい練馬に変えてこそ、ほんとうに豊かなまちになるはず。自己満足のために区を私物化することは許せません。今区長がなすべきことは、ますます深刻化・表面化する、子どもや若者・女性・高齢者・障がい者の貧困問題に全力で取り組むことです。

今後、区政改革計画素案が示され、区民の意見を募集して10月には策定される予定です。練馬をどのようなまちにしたいか私たちと一緒に考えませんか? ぜひご意見をお寄せください。



区議会議員 橋本 けいこ <http://khasimoto.seikatsusha.me>

小規模デイ事業者を救え！
区は早急に対策を！

デイサービスは、引きこもりがちな高齢者が外出をして人と触れ合い、心身や生活を整える効果があり、在宅介護のかなめです。

ところが、今回の介護保険改訂では、大幅な報酬削減となり、事業者は減収に苦しんでいます。特に10人以下のデイサービス事業所が、廃業・撤退に追い込まれ、「高齢者一人ひとりに向かい合って支えたいと、少人数にこだわってきた。改訂による減収で続けられない」と訴えています。

慣れ親しんだ場所でサービスを受けてこそ、心身の状態を悪化させずに保つことができます。地域に根ざし、家庭的な対応で、実績のあるデイサービスが無くなることは、大変な損失です。

●多様なサービスで
高齢者は安心

高齢者にとっては、事業者の撤退によって、新しい場所に慣れるのに時間がかかったり、なじみずに意欲をなくす可能性があります。

区は医療・介護・住まいなど、さまざまなサービスが高齢者の生活を支えていく「地域包括ケアシステム」をすすめています。このシステムをいかに

は、地域に多様なサービスが必要です。区に対して、事業者の経営状況など改訂の影響について把握するよう求めましたが、国が決めたことだからと調査しようとしません。これでは、保険者である区として責任放棄です。利用者にとって命綱ともいえる場所を減らさないために、事業者と向き合い、改訂の影響を聞き取ることが急務です。その上で、事務作業の軽減などの支援方法をともに考えるべきです。



区議会議員 やない 克子 <http://yanai.seikatsusha.me>

脱原発に向けて、
エネルギーシフト！

東日本大震災に伴う福島第一原発事故から、6年目の春を迎えましたが、いまだに多くの被災者が避難生活を送っています。汚染水対策や廃炉への道筋などのめどが立たないにもかかわらず、国は鹿児島県川内原

発、福井県高浜原発と次々と再稼働して原発推進を加速させています。再び過ちを犯さないためには、原発ゼロのエネルギー政策に転換するしかありません。

これまで私たちが求めてきた「地域エネルギービジョン(案)」が、今年3月によく策定されました。国や都の補助を活用して、電気自動車や燃料電池自動車による避難拠点の電源確保や、区民・事業者に対する設備補助などの取り組みは具体的ですが、ビジョンとして原発ゼロを掲げては



●練馬駅南口に、たった1本でひっそりと立つ太陽光パネル&風力発電の街路灯

第1回定例区議会で、「廃棄物の処理方法がない原発は最も未熟・未完のエネルギーであり、持続可能ではない。原発ゼロのビジョンを描くべき」と指摘しました。しかし、区長は「原子力発電については、国の政策」として判断を避けました。3・11を経て策定する

のですから、めざすは「原発ゼロのエネルギー自立都市」です。区民との協働の「市民発電所」の設置などエネルギーの地産地消をはたらきかけていきます。

●電力自由化で

3・11当時、「原発による電気は使いたくない」と多くの国民が考えました。4月からの電力小売り自由化に際しては、選択の基準として、電源構成などの情報開示義務を区や都・国に求めています。原発ゼロをめざす区民とともに地域からのエネルギーシフトを実現します。

2016年度予算特別委員会が開催され、大切な税金の使い道が審議されました。前年比6.3%増、約2600億円の一般会計は、「見せかけの改革予算」として、反対。国民健康保険事業会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計は保険料の値上げで区民負担は増すばかり。制度の抜本的見直しを求めて反対しました。

Information

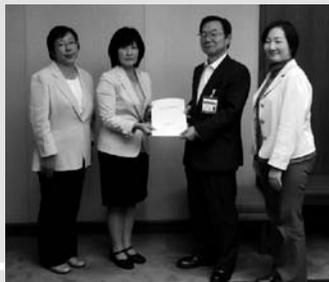
区議会
第二回定例会

6月1日(水)～
6月17日(金)
開催予定

こんな活動もしています

▶2015年
10月27日

みなさんから寄せられた、生活や地域の問題をまとめて「2016年度予算要望書」を山内副区長に手渡しました。



◀2015年
11月16日



通知カードが届く時期に「教えて!マイナンバー制度」学習会を開催。講師は情報公開クリアリングハウス理事長の三木由希子さん。「通知カードはしっかり保管」「個人番号カードは作らなくてもよい」など具体的な対応と「民間まで利用拡大する危険性がある」という問題点を聞くことができました。

▼2016年
1月21日

住宅街の上空を飛行ルートにする「羽田空港の機能強化」は、練馬区も対象地域になっています。航空評論家の秀島一生さんを講師に「航空評論家に聞く、羽田空港機能強化の現実!」を開催。騒音や落下物も心配ですが、点検や修理の安全性が、規制緩和によって軽視されている現状を知りました。

